

視点別の取組事例

I 「男女共同参画等」の視点

①イクボス宣言(中野区)

職員が安心して出産、育児、介護に取り組むことができるように環境整備することを、全管理職が宣言

②ファミリー・サポート事業(中野区)

保育園の送迎や子どもの預かり等、子育てに関する会員相互の援助活動を支援。中野区社会福祉協議会に委託して実施

③審議会等における女性参画促進(中野区)

女性委員の比率を40%以上にするを目的とした調査。比率が低い審議会等に改善を依頼

④女性人材リスト(富山県射水市)

専門知識や技能を有し活動経験のある20歳以上の女性応募者をリスト化。審議会等の委員選考や研修講師等の人選に活用

⑤TOKYOメンターカフェ(東京都)

専用の女性の悩み相談サイトに投稿される相談に都民メンターが回答。メンターは都内在住等の20歳以上の女性から広く募集。資格不問

⑥管理職育成プログラム体験(実践女子大学)

社会で活躍する将来の女性リーダーの養成に向けた短期集中型授業として、企業の管理職向けリーダー養成プログラムを体験

⑦LGBTフレンドリー指標制度(北海道札幌市)

LGBTに関する取組を行う企業を募集し、評価及び登録。市は、登録を受けた企業の企業情報や取組内容について、市公式HP等で積極的にPR

⑧パートナーシップ宣誓(中野区)

パートナーシップの関係にある戸籍上性別が同一の2人からの届け出により、宣誓書等受領証等を交付

⑨パートナーシップ・ファミリーシップ制度(兵庫県明石市)

性的少数者のカップルとその未成年の子どもを家族同然の関係と認める制度。事実婚も利用可

⑩男女共同参画週間関連事業(中野区)

内閣府が定める「男女共同参画週間」週間に合わせて講演会、パネル展を実施

⑪デートDV防止出前講座(中野区)

区内学校の児童・生徒向けにデートDV出前講座を実施

⑫ユニバーサルデザイン普及啓発冊子(中野区)

「まちの中」、「電車やバス」、「店や建物」の3つの場面で、ベビーカーが「通れない」やトランスジェンダーの人がトイレを「使いにくい」等の困りごと等を掲載

⑬LGBTリーフレット(岩手県)

生徒・学生・保護者向けに、制服、部活、修学旅行での風呂等、学校生活特有の困りごとや相談されたときの対応等を掲載

⑭テレワークアドバイザー派遣(千葉県千葉市)

市内に本社か事業所を置く中小企業や、市内を本拠に操業する予定の経営者を対象に、テレワークしやすい職場環境づくりを支援する「テレワークアドバイザー」を派遣

視点別の取組事例

2 「多文化共生」の視点

①日本語講座(中野区国際交流協会)

通年で生活に必要な日本語指導を実施。講座では日本語を学ぶだけでなく、季節の行事も取り入れ、日本文化に触れる機会を提供

⑤日本語指導員の派遣(中野区)

中野区国際交流協会と連携し、学校への日本語指導員または通訳を派遣し、学校生活や社会生活への円滑な適応を図る

⑨子ども向け安全啓発テキスト(東京都)

外国人の子どもの防犯意識を高めること等を目的として、安全に関する基礎的な知識を掲載したテキストを7言語で作成。併せて出前講座を実施

⑬タトゥー対応マップ(大分県)

県内の立ち寄り温泉施設のタトゥーをしている客への対応状況をサイトで公開。利用者の検索条件に対応した施設が表示される仕組み

②ニュージーランド・ウェリントン子ども交流(中野区)

区とニュージーランド・ウェリントン市の中学生が隔年で相互訪問。ホームステイをしながら異文化交流等を実施

⑥チーバくんパートナー(千葉県)

外国人(帰化を含む)21名を任命。外国人の視点を生かした施策への意見聴取や情報発信、事業への参加協力を依頼

⑩賃貸住宅トラブル防止ガイドライン(東京都)

賃貸住宅入退去時の基本的なルールを説明したガイドラインの外国語版(3言語)を作成。土足禁止やゴミ出しのルールも説明

⑭外国人親子向けキャリア講座(静岡県)

外国人学校に通う生徒への就職支援のため、親子同伴の講座を実施

③外国人材採用ナビセンター(東京都)

中小企業に対し外国人の採用方法や受け入れ環境の整備、離職防止策等を助言。中小企業への出張型相談や就職活動中の外国人相談にも対応

⑦外国語版ハザードマップ(中野区)

水害ハザードマップと土砂災害ハザードマップを4言語で作成

⑪食の多様性に関する推進事業(岐阜県飛騨市)

台湾素食、ハラル、ビーガン等文化の違いによる食の選択が可能なるメニューの提供を広めることを目指し、対応マップの作成、飲食店等向けセミナー等を実施

⑮AIによる英語観光案内(三重県志摩市等)

市観光協会の英語版ホームページでAIを活用しながら英語で回答するチャットボットを設置

④出身国別に複数リーダーを配置(広島県)

各地域で出身国ごとにグループを作り数人のリーダーを配置。リーダーを通じた行政情報の周知や相談等の仕組み構築を目指したモデル事業

⑧SNS等を活用した多言語発信(大田区)

SNS等を活用し、平日毎日、「やさしい日本語」を含む多言語での情報発信を実施

⑫ムスリムおもてなしマップ(千葉県千葉市)

イスラム教徒(ムスリム)の旅行者が安心して飲食や礼拝、美容等のサービスを利用できる店舗を紹介

⑯外国人のための生活ガイドブック(中野区)

不自由なく安心した暮らしができるよう、日本での生活ルールや習慣、行政手続き、税や国民健康保険、ごみ処理など行政ルールを案内

3 「年齢・世代」の視点

①ボランティア活動マニュアル(中野区)

地域活動、ボランティア等に参加するに当たってのポイントを示したマニュアルを作成

②東京ホームタウンプロジェクト(東京都)

地域が「プロボノ」を使いこなすためのプロジェクト。プロボノワーカーが団体の運営における課題に向けた成果物を作成・提供

③コミュニティカフェ(中野区)

地域住民の交流を目的として、区民活動センター等で実施

④ホワイトカラー高齢者の活用(横浜県鎌倉市)

海外勤務経験者等、多言語対応ができる高齢者やIT関連事業に従事経験のある高齢者向けの企業支援

⑤生きがい就労(中野区シルバー人材センター)

企業や家庭、公共団体から高齢者にふさわしい仕事を引き受け、シルバー人材センター会員に仕事を提供

⑥特別養護老人ホームでの「子ども食堂」(愛知県)

貧困対策に特化しない「居場所づくり」として特養を活用。入所者との世代間交流により健やかな生育環境確保につながるメリットを見込む

⑦職員の地域貢献活動基準の明確化(長野県諏訪市)

子どもの学習や小中学校の部活動へのサポート、高齢者・障害者支援等、地域貢献につながる活動に職員が参加する基準を明確化。許可を受けることにより、報酬を得て社会貢献活動に参加することが可能となる

⑧高校生制作アニメーションによる選挙啓発(北海道選管)

地元高校生が制作した選挙啓発アニメーションをユーチューブで公開。若者を始め幅広い世代での投票率向上を目指す

⑨大学進学実現アシスト事業(福岡県)

大学・短大への進学を望む生活困窮世帯の中高生を対象に、支援員が家庭訪問し、学習計画を作る等の無料の支援を行う

⑩孫育て講座(大阪府枚方市)

子育てをめぐる世代間の認識のギャップを埋め互いの理解を深めるために市内の祖父母を対象に実施

⑪地域創生アイデアコンテスト(兵庫県たつの市)

市外在住大学生と市の若手職員がフィールドワークを通じて地域活性化につながるアイデアを市に提言。若者の柔軟な発想力と市外からの視点を新たな施策に生かす

⑫職員名札の平仮名化(北海道函館市)

市民と接する機会の多い職員の名札を平仮名表記化。市民が職員と打ち解けやすいよう、温かい雰囲気を作ることが狙い。名札には名字のみが記載される

視点別の取組事例

4 「障害」の視点

①合理的配慮の事例収集(中野区)

半期ごとに区内における合理的配慮の提供の事例調査及び事例に関する情報提供を実施

⑤VR等新技術を活用したツアー造成事業(東京都)

旅行会社がVR等新技術を組み合わせ、「新しい日常」に対応し障害者や高齢者等あらゆる人が楽しむことができる旅行商品を造成・販売する場合に必要な経費の一部を補助

⑨障害者の一人暮らし体験(栃木県栃木市)

障害者が市内アパートで一人暮らしを体験する。日帰りから最大4泊5日まで。エアコンやテレビ等が完備された部屋で暮らし、必要があればヘルパーによる家事補助も頼める

⑬新紙幣にユニバーサルデザインを採用(政府)

2024年度上期をめぐりに刷新する新紙幣に、視覚障害者が紙幣の違いをより判別しやすくしたユニバーサルデザインを採用。指の感触により紙幣の種類を識別出来るマークの形状や位置を変更する

②障害者理解啓発差別解消事業講演会(中野区)

障害を理由とする差別の解消を目的として、区民向けに啓発事業を実施

⑥多様な視点を盛り込んだバリアフリーマップ(大阪府池田市)

車椅子利用者や視覚障害者、留学生、地元企業社員等と市職員によるまち歩きにより作成。不便を感じる点や地域の魅力等をそれぞれの視点から取りまとめる

⑩コミュニケーション支援ボード(香川県観音寺市)

聴覚障害者や言語障害者、外国人等を対象にイラスト等を指さして意思疎通を図ることができるボードを製作

⑭知的障害者を高校で受け入れ(神奈川県)

2015年度に神奈川県のパイロット校3校を指定し、軽度知的障害相当と認めた生徒を一般学級で受け入れ

③やさしい手話教室(中野区)

手話への理解を促進するための啓発事業。聴覚障害者が主体となり運営されている

⑦分身ロボットで障害者就労支援(神奈川県)

カメラやマイク、スピーカを搭載した分身ロボットを庁舎入口付近に設置。障害者が自宅から遠隔で操作し、ロボットの前の来庁者と会話しながら担当課の場所等を伝える

⑪「ユニバーサルMaaS」の実証実験(神奈川県横須賀市)

全日空と京急電鉄、横浜国立大学とともに、様々な理由で移動にためらいのある人々に提供する移動サービスの実証実験を行う。利用者の位置情報をタブレット端末で把握し、先回りして介助準備ができるようになる

⑮手話啓発の漫画冊子作成(京都府向日市)

平成30年度、若い世代にも聴覚障害や手話について知ってもらうため、大学に漫画作成を委託し作成

④ヘルプカード、ヘルプマークの配布(中野区)

障害者が周囲から配慮や手助けを求めやすくなる「ヘルプカード」、周囲に配慮が必要なことを知らせる「ヘルプマーク」を配布

⑧遠隔手話通訳(東京都)

手話通訳者を介したテレビ電話や文字チャットのシステムを利用し、在宅のまま職員とやりとりができる

⑫投票支援カードの作成(狛江市)

投票の際に支援が必要な方に対し市独自の「投票支援カード」を作成した。代理投票時に使用